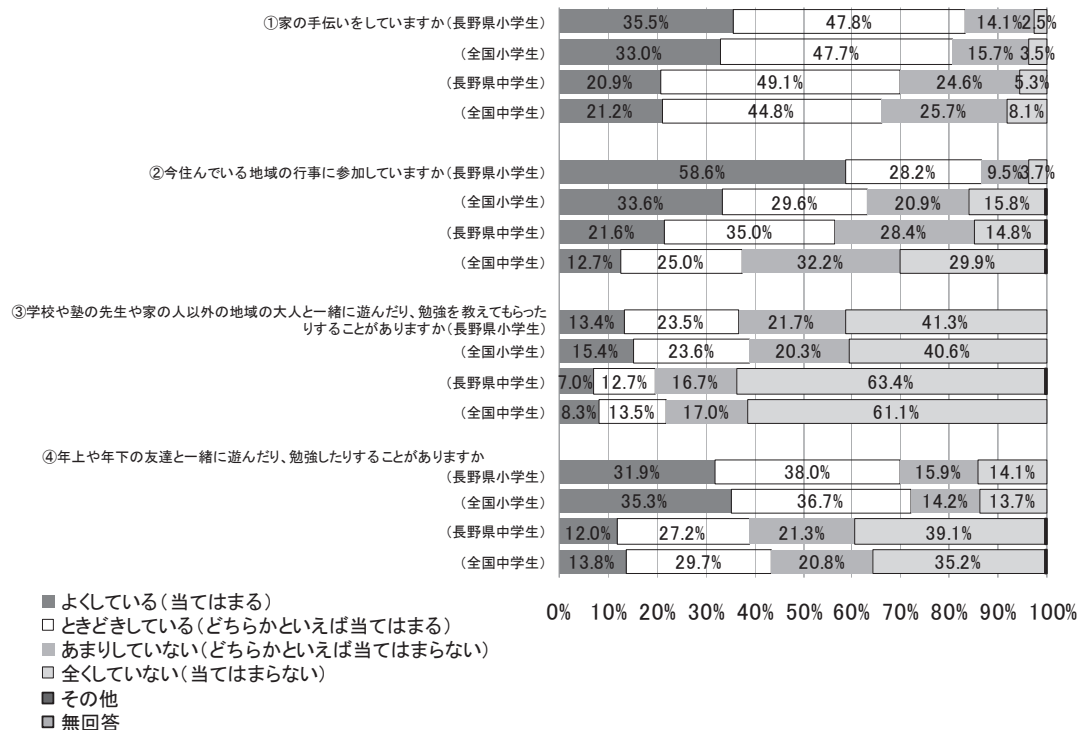


(2) 子どもの未来づくり

現状と課題

- 家庭や地域の教育力の低下が指摘されており、学校・家庭とは異なる環境の中で、自然体験や共同生活体験を通し、自主性や社会性等の育成を図る必要があります。
- 地域や学校の特色を生かしたカリキュラムや地域のよさを子どもたちに伝えることなどが求められていますが、地域を学ぶ教材の作成等は地域毎の取組に差が見られます。
- 学力、体力の向上等も含め、児童生徒の健やかな成長を促すためには、基本的な生活習慣を身に付けること等の家庭教育が重要です。
- 核家族化や少子化などにより、家庭において身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、地縁的なつながりが希薄化するなど家庭教育を支える環境が大きく変化しており、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっています。
- 飲酒・喫煙等に対する規範意識が、年齢が上がるに従って低くなっています。また、有害情報の氾濫等社会環境の悪化による子ども・若者への影響が深刻化しています。
- 刑法犯における少年(20歳未満の者)の占める割合は依然として多く、罪を犯すなどの非行少年は減少しているものの依然として高水準で推移しており、特に万引き等の初発型非行*が多い状況となっています。

図6-(2)-① 「家庭・地域社会」に関する質問紙調査



文部科学省「全国学力・学習状況調査」平成24年度

第1次計画の成果と課題

- 放課後の子どもの居場所づくりについては、4年間で既に目標値を上回る実績を達成しています。引き続き多様なニーズに対応していく必要があります。

【第1次計画 目標達成見込】			
達成目標	目標値	H23 実績値	達成予測
放課後児童クラブ※登録児童数	17,000 人	18,996 人	達成見込み
放課後子ども教室※登録児童数	5,800 人	8,311 人	達成見込み



スクールバスの見守り

成果目標

- 学校支援ボランティアが自らの経験や知識を基に児童生徒に豊かな学習や体験の機会を提供できるようにします。
- より多くの小学校区において、放課後児童クラブ*・放課後子ども教室*が実施され、多くの児童に放課後の居場所が確保されるようにします。

測定指標

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
学校支援ボランティア登録数	15,472人 (平成24年度)	18,000人	文化財・生涯学習課調べ
放課後子どもプラン(児童クラブ・子ども教室)登録児童数	27,307人 (平成23年度)	30,000人	こども・家庭課、文化財・生涯学習課調べ

主な施策の展開

子どもの未来づくりを推進するために、次のような取組を進めます。

① 学校、家庭、地域の連携を支援

- 保護者、地域住民が学校との連携を図りながら、子どもたちへの持続的な支援活動を実施し、教職員や児童生徒と共に学校運営へ参画できる仕組み(信州型コミュニティスクール)を検討し、その普及を推進します。【教育総務課、義務教育課、教学指導課、文化財・生涯学習課】
- 放課後や休日等における子どもの安全・安心な居場所づくりと健全な育成を推進するため、放課後児童クラブ*や放課後子ども教室*の活動などを支援します。【こども・家庭課、文化財・生涯学習課】
- 教職員、市町村職員、コーディネーター(調整役)、ボランティア等に対して、学校と地域連携に関する研修、啓発を行い、地域の教育力の向上を図ります。【文化財・生涯学習課】
- 学校、地域やNPO等との連携により、通学合宿などの日常生活における異年齢の共同生活体験を推進し、子どもの自主性や協調性を育みます。【次世代サポート課】



放課後子ども教室

② 豊かな交流、体験活動の推進

- 「子どもたちが地域を学ぶ」「地域が気づく」「地域のみんなが共に育つ」ためのネットワークづくり、参加体験型プログラム、教材の開発等を推進します。【地域福祉課、教学指導課】
- 体験的な学習を支える地域教材を扱った事例のデータや人材情報等の整備、提供に取り組めます。【教学指導課】
- 障害のある子どもを対象とした就労体験活動である「ふれジョブ」を普及します。【次世代サポート課】

③ 家庭教育の支援

- P T A活動についての講演会や分科会等を通じた家庭教育に関する研修を行います。【文化財・生涯学習課】
- 地域の実情に応じた家庭教育支援の先進事例の情報を関係機関で共有し、その普及啓発に取り組めます。【文化財・生涯学習課】
- 福祉施策と連携し、地域の力を活用しながら、子育て支援と家庭教育支援の向上を図ります。【こども・家庭課、文化財・生涯学習課】
- 学校・家庭・地域が一体となって、「早寝早起き朝ごはん」運動や、あいさつ・声がけなどに取り組む「共育」クローバープランを推進し子どもの望ましい生活習慣を育成します。【教学指導課、文化財・生涯学習課】
- 仕事と家庭等のバランスが取れた生活を送れるよう、育児・介護休業法などの周知を図るとともに、労働時間短縮をはじめとするゆとりある労働環境づくりを推進します。【労働雇用課】
- 従業員の子育て支援に取り組む企業を支援し、育児休業制度や育児のための短時間勤務制度の普及を推進します。【労働雇用課】

④ 青少年健全育成、健全な社会環境づくり

- 「青少年は地域社会からはぐくむ」という観点から、学校、家庭、地域住民、企業、団体、行政が一体となり、「県民総ぐるみの青少年育成運動」を推進します。【次世代サポート課】
- 携帯電話やインターネットなどの急速な普及に対応し、青少年のメディアリテラシー*の向上を図ります。【次世代サポート課】
- 自然とのふれあい体験や共同生活体験を通じ、青少年の豊かな感性や自立性・社会性を育みます。【文化財・生涯学習課】
- 成人向け図書や情報などの青少年を取り巻く有害な社会環境から子どもたちを守るため、地域での巡回活動や啓発運動を支援します。【次世代サポート課】
- 非行防止教室の開催や少年サポートセンターによる少年、保護者に対する相談活動を通じて、少年の立ち直り支援や少年の規範意識の向上を図ります。【県警少年課】